

平成 27 年度事業報告について

基本方針

県内の自治体、観光関係団体、観光事業者等が一丸となり、平成 28 年 3 月 26 日の北海道新幹線開業に向けて、戦略的な情報発信などの効果的なプロモーション活動を行い、県内各地における多彩な観光コンテンツづくり、おもてなしの気運醸成を含む観光客受入体制の整備を推進し、本県観光産業の振興を図った。

また、平成 28 年度に実施される青森県・函館デスティネーションキャンペーンに向けて、ＪＲグループ及び北海道道南地域関係者と連携し、全国宣伝販売促進会議の開催をはじめとした各種取り組みを積極的に進め、全国からの集中的な誘客や地域経済の活性化を図った。

更に、海外からの観光客の誘致促進を図るため、韓国・台湾・香港・中国を中心に、引き続き積極的な誘致活動を展開するとともに、本県観光を含めた産業振興に効果が高いコンベンション誘致及び教育旅行についても重点的に取り組んだ。

青森県観光物産館については、第二期中期経営計画に基づき、より一層の経営効率化・収益拡大対策を図るとともに、来館者の満足度向上を通じたりピーター確保に向けた各種取り組みを推進し、本県観光を含めた各種産業の情報発信拠点としての機能強化と魅力向上に努めた。

〔公益目的事業〕

1 観光振興事業

(1) 観光情報発信事業

① 青森県観光情報センター運営事業

県内の魅力ある観光資源に関する情報を観光客や旅行エージェント等に発信するため、青森県観光情報センターを運営した。

- ◆場 所 青森県観光物産館アスパム
- ◆業務内容
 - ・観光素材（写真データ、動画、パンフレット等）収集
 - ・旅行エージェント等に対する情報提供

② 観光情報ネットワークシステム運営事業（県委託事業）

本県を訪れる観光客等が、観光情報をインターネットにより入手できるよう県・市町村等と連携し、青森県観光情報サイト「アプティネット」の運営・管理を行った。

③ キーインフルエンサー獲得事業（県委託事業）

生活者・消費者の行動に影響を与えるインフルエンサーによる本県観光情報等の発信活動を強化するため、発信力、到達力、信頼獲得力を備えたキーインフルエンサーの獲得を図った。

- ◆期 間 平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月
- ◆内 容
 - ・ 本県と関連がある著名人の発掘、リストアップ
 - ・ 様々なコネクションを利用した働きかけによるキーインフルエンサーの獲得
 - ・ キーインフルエンサー来県時の対応
 - ・ キーインフルエンサー及びこれに付随する本県関連情報に係る各メディアの調査等

（２）教育旅行誘致事業

本県への教育旅行の誘致を促進するため、教育旅行関係団体・教育旅行エージェント等との連携を図りながら各種事業を重点的に実施した。

① 教育旅行誘致促進連絡会議の開催

ア 第 1 回会議

- ◆期 日 平成 27 年 5 月 20 日（水）
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成 27 年度の事業及びスケジュールについて

イ 第 2 回会議

- ◆期 日 平成 27 年 11 月 16 日（月）
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 教育旅行誘致活動状況について

ウ 第 3 回会議

- ◆期 日 平成 28 年 3 月 7 日（月）
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成 27 年度教育旅行誘致活動状況について
平成 28 年度教育旅行誘致事業計画（案）について

② 教育旅行誘致資料等の制作

ア あおもり教育旅行ガイドブックの作成・配付

- ◆部 数 12,000 部

イ 青森県教育旅行ホームページの更新

③ 教育旅行実施状況調査の実施

- ◆内 容 平成 27 年分県内宿泊施設に対する調査
- ◆対 象 県内ホテル、旅館等
- ◆期 間 平成 28 年 1 月～3 月調査実施

④ 学校関係者・教育旅行エージェントに対する情報提供

【首都圏対策】

ア 首都圏教育旅行エージェント訪問

- ◆期 間 平成 27 年 7 月 29 日（水）
- ◆訪 問 先 神奈川県教育旅行エージェント 4 社

イ 首都圏教育旅行エージェント等訪問

- ◆期 間 平成 27 年 11 月 24 日（火）～26 日（木）
- ◆訪 問 先 東京都、埼玉県、千葉県内教育旅行エージェント 23 社、中学校 1 校
- ◆参 加 者 教育旅行誘致促進連絡会議構成員等 14 名

ウ 首都圏教育旅行エージェント訪問

- ◆期 間 平成 28 年 2 月 25 日（木）
- ◆訪 問 先 神奈川県内教育旅行エージェント 5 社

エ 教育旅行 5 地区合同セミナー

- ◆期 日 平成 28 年 2 月 24 日（水）
- ◆場 所 東京国際フォーラム
- ◆参 加 者 首都圏教育旅行エージェント及び学校関係者 36 名
- ◆主 催 （公社）北海道観光振興機構、新潟県グリーンツーリズム推進協議会、広島県教育旅行誘致協議会、（一社）長崎県観光連盟、（公社）青森県観光連盟

オ 首都圏教育旅行エージェント現地視察会・商談会

- ◆期 間 平成 27 年 8 月 26 日（水）～27 日（木）
- ◆場 所 青森市、十和田市、八戸市
- ◆参 加 者 首都圏教育旅行エージェント 6 名、教育旅行誘致促進会連絡会議構成員等 12 名

カ 教育関係団体等の発表会等への参加

- ◆東北教育旅行セミナー（東京会場）／主催：東北観光推進機構
- ◆全国修学旅行研究大会／主催：（公財）全国修学旅行研究会
- ◆第 11 回教育旅行シンポジウム／主催：（公財）日本修学旅行協会

【北海道対策】

ア 道央地区旅行エージェントキャラバン

- ◆期 間 平成 27 年 8 月 31 日(月)～9 月 4 日(金)
- ◆訪 問 先 札幌市、小樽市、苫小牧市旅行エージェント 14 社、
中学校 56 校、札幌市教育委員会
- ◆参 加 者 教育旅行誘致促進連絡会議構成員等 24 名

イ 道南地区旅行エージェントキャラバン及び学校訪問

- ◆期 間 平成 27 年 10 月 5 日(月)～7 日(水)
- ◆訪 問 先 函館市、北斗市、森町、七飯町、松前町旅行エージェ
ント 7 社、小中学校 51 校、函館市、北斗市教育委員
会
- ◆参 加 者 教育旅行誘致促進連絡会議構成員等 20 名

ウ 教育関係団体等の発表会等への参加

- ◆修学旅行説明会/主催：北海道旅客鉄道(株)
- ◆東北教育旅行セミナー(札幌会場)/主催：東北観光推進機構

【北陸対策】

ア 北陸地区旅行エージェントキャラバン及び学校訪問

- ◆期 間 平成 27 年 11 月 26 日(木)～27 日(金)
- ◆訪 問 先 石川県の旅行エージェント 1 社、高等学校 1 校、石川
県教育委員会

(3) コンベンション誘致事業

本県観光産業の振興に効果が高く、本県観光のイメージアップやブランド力の強化にも繋がるコンベンションを誘致するため、本県開催の動機付けとなるコンベンション開催費助成事業を実施するとともに、県内外の大学、団体、企業等への誘致活動を展開した。

① コンベンション誘致促進連絡会議の開催

ア 第 1 回会議

- ◆期 日 平成 27 年 5 月 20 日(水)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成 27 年度の事業及びスケジュールについて

イ 第 2 回会議

- ◆期 日 平成 27 年 11 月 16 日(月)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成 27 年度事業の進捗状況について
平成 27 年度以降の助成金申込状況について

ウ 第3回会議

- ◆期 日 平成 28 年 3 月 7 日(月)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成 27 年度事業の進捗状況について
平成 28 年度事業計画(案)について
平成 28 年度助成金交付対象(案)について
平成 29 年度助成金申込状況について

② コンベンション誘致活動事業(県補助事業)

ア 開催団体等訪問

県内の大学・団体等を訪問して、助成制度等の説明PR及び平成 28 年度以降の学会等の誘致促進を依頼した。

- ◆訪問時期 平成 27 年 6 月 2 日(火)～4 日(木)、10 日(水)
- ◆訪問先 県内大学等 11 団体

イ 各種イベント出展等

国際ミーティングエキスポ(IME2015)に県内各観光コンベンション協会と共同で出展し、青森県へのコンベンション誘致活動を行うと共に、本県ブース来場団体に対する事後訪問を実施した。

- ◆開催日 平成 27 年 12 月 9 日(水)～10 日(木)
- ◆場 所 東京国際フォーラム(東京都)
- ◆事後訪問件数

平成 28 年 1 月 20 日(水) 東京都 5 件
平成 28 年 3 月 3 日(木)～4 日(金) 東京都 5 件
(合計: 10 件)

ウ 媒体作成及びホームページによる情報発信

コンベンション開催助成金制度PRリーフレットの内容修正及び増刷

- ◆作成部数 15,000 部

③ コンベンション開催費助成事業(県補助事業)

県外からの延宿泊者数 100 人以上のコンベンションに対し開催費を助成した。

- ◆交付実績 助成先 14 団体、助成金額 13,599 千円

(4) 外国人観光客誘致拡大事業

韓国・台湾・香港・中国を中心とした東アジアからの外国人観光客の誘致活動をより一層積極的に展開するとともに、県内観光事業者の受入意識やサービスの向上、外国人観光客受入体制の充実・強化を図った。

① 国際観光推進連絡会議の開催

ア 第1回会議

- ◆期 日 平成 27 年 5 月 20 日(水)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成 27 年度事業について

イ 第2回会議

- ◆期 日 平成 27 年 11 月 16 日(月)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成 27 年度事業の進捗状況について

② 韓国人観光客誘致拡大事業（県委託事業）

各種イベントに出展・参加するとともに、青森・ソウル線 20 周年記念、閑散期における需要の底上げ及び新規旅行商品造成等のための広告支援金交付や各種招聘事業等を実施した。

ア 招聘事業の実施

（ア）韓国エージェント等招聘事業

- ◆期 間 平成 27 年 4 月 17 日(金)～19 日(日)
- ◆訪問地域 青森市、鰺ヶ沢町、平内町、平川市、大鰐町
- ◆招 聘 者 旅行エージェント 5 名、ソウル事務所 1 名

（イ）韓国メディア招聘事業

- ◆期 間 平成 27 年 12 月 20 日(日)～23 日(水)
- ◆取 材 先 青森市、五所川原市、三沢市
- ◆招 聘 者 韓国ファッション雑誌関係者 12 名

イ 閑散期販売対策（広告助成）

（ア）広告支援金の交付

韓国人観光客を早期に回復させるため、韓国旅行エージェントに対し、旅行商品造成促進のための広告支援を実施した。

- ・ 2015 年 4 月青森販売促進プロモーション助成（20 周年記念商品）事業

- ◆対象商品 青森・ソウル線における韓国発の青森旅行商品
- ◆支 援 先 （株）ハナツアー、（株）モードツアー、ロッテ観光開発（株）、（株）韓進観光
- ◆期 間 平成 27 年 4 月 1 日（水）、4 月 3 日（金）、4 月 5 日（日）

- ・ 2015 年 6 月閑散期対策青森販売促進プロモーション助成事業

- ◆対象商品 青森・ソウル線における韓国発の青森旅行商品

◆支 援 先 ロッテ観光開発（株）

◆期 間 平成 27 年 6 月 3 日（水）～6 月 28 日（日）

・ 2015 年 7 月～9 月青森販売促進プロモーション助成（閑散期対策）事業

◆対象商品 青森・ソウル線における韓国発の青森旅行商品

◆支 援 先 （株）モードツアー、ロッテ観光開発（株）

◆期 間 平成 27 年 7 月 1 日（水）～9 月 30 日（水）

・ 2015 年 10 月～11 月青森販売促進プロモーション助成（閑散期対策）事業

◆対象商品 青森・ソウル線における韓国発の青森旅行商品

◆支 援 先 ロッテ観光開発（株）

◆期 間 平成 27 年 10 月 1 日（木）～11 月 30 日（月）

・ 2015 年 10 月～12 月青森販売促進プロモーション助成（TV ショッピング）事業

◆対象商品 青森・ソウル線における韓国発の青森旅行商品

◆支 援 先 ロッテ観光開発（株）

◆期 間 平成 27 年 10 月 11 日（日）～12 月 18 日（金）

ウ イベントへの出展

（ア）ソウルランタンフェスティバルへの参加

ソウル特別市長から要請があり、昨年度出展して韓国国内で保管していた五所川原立佞武多を修復するとともに、新たに青森ねぶたを製作して出展した。

◆期 間 平成 27 年 11 月 6 日（金）～22 日（日）

◆場 所 清溪広場（ソウル特別市）

（イ）韓国済州特別自治道耽羅（タムナ）文化祭への参加

韓国済州特別自治道において開催された「耽羅文化祭」において青森県ブースを設置し運営した。

◆期 間 平成 27 年 10 月 7 日（水）～11 日（日）

◆場 所 塔洞（タプトン）広場（済州市）

（ウ）在済州日本国総領事館天皇誕生日レセプションへの参加

在済州日本国総領事館主催の「天皇誕生日レセプション」において青森県ブースを設置し運営した。

◆期 間 平成 27 年 12 月 9 日（水）

◆場 所 済州 KAL ホテル（済州市）

エ 韓国ミッション団へのソウル事務所職員の派遣

「青森・ソウル線利用促進済州ミッション団」

◆期 間 平成 27 年 8 月 30 日（日）～9 月 2 日（水）

オ 大韓航空との意見交換会の開催

韓国への知事トップセールスにあたり、大韓航空と知事との「意見交換会」を開催した。

◆期 日 平成 28 年 1 月 7 日（火）

◆参 加 者 大韓航空 4 名

③ 韓国誘客拡大事業（県委託事業）

日韓交流おまつり等各種イベントに出展・参加するとともに、青森・ソウル線 20 周年記念イベントを開催し、新規旅行商品造成等のための広告支援金交付や各種招聘事業等を実施した。

ア イベントへの参加・開催

（ア）青森・ソウル線就航 20 周年記念レセプションの開催

◆期 間 平成 27 年 7 月 20 日（月）

◆場 所 ロッテホテル（ソウル特別市）

◆招 聘 者 韓国国内関係者 100 名

（イ）日韓交流おまつり 2015 in Seoul への参加

「日韓交流おまつり 2015 in Seoul」に参加し、五所川原立佞武多の展示、黒石よされのパレード参加、黒石よされ及び津軽三味線のブースでの実演、黒石こけしの絵付け体験を行った。

◆期 間 平成 27 年 9 月 19 日（土）～20 日（日）

※19 日は前夜祭

◆場 所 COEX 展示場（ソウル特別市）

（ウ）「VISIT JAPAN トラベルマート 2015」への参加

◆期 間 平成 27 年 9 月 25 日（金）～27 日（日）

◆場 所 東京ビッグサイト東展示棟 6 ホール（東京都）

◆参 加 者 海外バイヤー 317 社、海外 MICE バイヤー 25 社、
海外メディア 11 社

イ 招聘事業の実施

韓国人観光客に対しての本県の安全・安心の情報発信や、新規旅行商品の造成促進、個人旅行客対策を目的として、韓国メディアや韓国旅行

エージェント等を対象とした招聘事業を実施した。

(ア) 韓国メディア招聘事業

《1回目》

- ◆期 間 平成 27 年 4 月 26 日(日)～29 日(水)
- ◆取 材 先 青森市、十和田市、黒石市、弘前市
- ◆招 聘 者 韓国メディア関係者 3 名

《2回目》

- ◆期 間 平成 28 年 1 月 27 日(水)～31 日(日)
- ◆取 材 先 青森市、五所川原市、鰺ヶ沢町、弘前市、平川市、黒石市
- ◆招 聘 者 韓国著名漫画家及び取材陣等関係者 14 名

(イ) 韓国旅行エージェント招聘事業

《1回目》

- ◆期 間 平成 27 年 6 月 28 日(日)～7 月 1 日(水)
- ◆訪問地域 青森市、弘前市、平川市、西目屋村、田舎館村、十和田市、三沢市、八戸市
- ◆招 聘 者 旅行エージェント等 7 名、JNTO・ソウル事務所各 1 名

《2回目》

- ◆期 間 平成 27 年 8 月 27 日(木)～30 日(日)
- ◆訪問地域 青森市、平内町、十和田市
- ◆招 聘 者 韓国済州道サイクリング連盟関係者 5 名

(ウ) 韓国ロッテ観光社長招聘事業

- ◆期 間 平成 27 年 4 月 3 日(金)～4 日(土)
- ◆訪問地域 青森市、十和田市、三沢市
- ◆招 聘 者 韓国ロッテ観光関係者 5 名

ウ 広告支援金

(ア) 広告支援金の交付

韓国人観光客数を早期に回復させるため、韓国旅行エージェントに対し、旅行商品造成促進のための広告支援を実施した。

・2015 年 4 月～5 月青森販売促進プロモーション助成事業

- ◆対象商品 青森・ソウル線における韓国発の青森旅行商品
- ◆支 援 先 (株) ハナツアー、(株) モードツアー、ロッテ観光開発(株)
- ◆期 間 平成 27 年 4 月 1 日(水)～5 月 31 日(日)

- ・ 2015 年 4 月～9 月青森販売促進プロモーション助成事業（トレッキング対策・雑誌広告）
 - ◆対象商品 青森・ソウル線における韓国発の青森旅行商品
 - ◆支援先 (株)ヘチョ旅行開発
 - ◆期 間 平成 27 年 4 月 1 日（水）～9 月 30 日（水）
- ・ 2015 年 6 月～9 月青森販売促進プロモーション助成事業
 - ◆対象商品 青森・ソウル線における韓国発の青森旅行商品
 - ◆支援先 (株)モードツアー、ロッテ観光開発（株）、ホドトラベル（株）
 - ◆期 間 平成 27 年 6 月 1 日（月）～9 月 30 日（日）
- ・ 2015 年 10 月～11 月青森販売促進プロモーション助成事業（トレッキング対策）
 - ◆対象商品 青森・ソウル線における韓国発の青森旅行商品
 - ◆支援先 (株)ヘチョ旅行開発
 - ◆期 間 平成 27 年 10 月 1 日（木）～11 月 30 日（月）
- ・ 2015 年 10 月～11 月青森販売促進プロモーション助成事業
 - ◆対象商品 青森・ソウル線における韓国発の青森旅行商品
 - ◆支援先 (株)モードツアー、ロッテ観光開発（株）
 - ◆期 間 平成 27 年 10 月 1 日（木）～11 月 30 日（月）
- ・ 日本＆ワールドベストスキーリゾートガイドブックに係る広告掲載事業
 - ◆対象商品 青森・ソウル線における韓国発の青森旅行商品
 - ◆支援先 ホドトラベル（株）
 - ◆期 間 平成 27 年 10 月 1 日（木）～11 月 30 日（月）
- ・ 2016 年 2 月～3 月青森販売促進プロモーション宣伝広告費助成事業
 - ◆対象商品 青森・ソウル線における韓国発の青森旅行商品
 - ◆支援先 (株)モードツアー、ロッテ観光開発（株）、(株)韓進観光、(株)旅行博士
 - ◆期 間 平成 28 年 2 月 1 日（月）～3 月 10 日（木）
- ・ 2016 年 2 月～3 月青森販売促進プロモーション宣伝広告費助成事業（バックカントリー）
 - ◆対象商品 青森・ソウル線における韓国発の青森旅行商品
 - ◆支援先 ホドトラベル（株）
 - ◆期 間 平成 28 年 2 月 1 日（月）～3 月 10 日（木）

エ 青森空港におけるソウル便の歓迎

県が実施する各種事業とタイアップし、青森空港着の青森・ソウル便を利用した韓国人観光客のお出迎えを行った。

「青森・ソウル線 20 周年記念」

- ◆期 間 平成 27 年 4 月 1 日（水）、4 月 3 日（金）、4 月 5 日（日）
- ◆実施場所 青森空港国際線到着ロビー
- ◆内 容 青森りんご、観光パンフレット、缶バッジ配布、青森ねぶた等の囃子演奏、「いくべえ」などのマスコットキャラクターによる歓迎

「韓国トレッキング団体」

- ◆期 間 平成 27 年 5 月 22 日（金）
- ◆実施場所 青森空港国際線到着ロビー
- ◆内 容 観光パンフレット、缶バッジ配布、「いくべえ」などのマスコットキャラクターによる歓迎

「韓国 M I C E インセンディブツアー団体」

- ◆期 間 平成 27 年 12 月 13 日（日）
- ◆実施場所 青森空港国際線到着ロビー
- ◆内 容 観光パンフレット、缶バッジ配布、「いくべえ」などのマスコットキャラクターによる歓迎

オ 韓国 MICE ファムツアー参加者意見交換会の開催

韓国からの誘客促進を図るため、6 月に実施したファムツアー参加者との意見交換会を開催した。

- ◆期 日 平成 27 年 10 月 20 日（火）
- ◆参 加 者 ファムツアー参加者 6 名

カ インセンティブマートへのソウル事務所職員の派遣

- ◆期 日 平成 27 年 11 月 10 日（火）
- ◆派遣場所 ソウル
- ◆期 日 平成 27 年 11 月 11 日（水）
- ◆派遣場所 釜山

キ 韓国ミッション団へのソウル事務所職員の派遣

「青森・ソウル線利用促進済州ミッション団」

- ◆期 間 平成 27 年 5 月 31 日（日）～6 月 3 日（水）

④ 韓国個人旅行客誘致メディアミックスプロモーション業務（県委託事業）

韓国からの個人旅行客誘客促進を目的として、韓国最大手旅行エージェントと連携し、ソーシャルネットワークサービスや新聞等を活用したメディアミックス型のプロモーションを実施した。

ア 広告助成

韓国からのインバウンドの7割を占めるFITに対し、SNS等を活用し本県の魅力を発信し、知名度向上を図るため、青森旅行商品を販売する韓国国内の旅行会社に対し、広告助成を実施した。

- ・対象商品 青森・ソウル線を利用する韓国発の青森旅行商品で、青森県内に1泊以上する商品
- ・支援先 (株)ハナツアー
 - ◆期 間 平成27年6月1日(月)～平成27年9月30日(水)
 - ◆期 間 平成27年10月1日(木)～平成27年12月31日(木)
 - ◆期 間 平成28年1月1日(金)～平成28年3月31日(木)

イ ファムツアーの実施

(ア) ハナツアーステッカー撮影・ファムツアー

- ◆期 間 平成27年8月2日(日)～5日(水)
- ◆取材先 青森市、十和田市、田舎館村、平川市、弘前市
- ◆招聘者 韓国メディア、モデル等計5名

⑤ ふるさと地域活性化誘客促進事業に係る旅行商品販売促進・プロモーション事業（県委託事業）

青森・ソウル線を利用して、本県に宿泊する観光客の増加を図ることを目的に、韓国において旅行商品販売促進・プロモーションを実施して、本県への誘客を促進した。

ア 青森旅行商品販売促進プロモーション助成事業

対象旅行商品での宿泊者数に応じて旅行社に対して助成金支払を実施した。

- ◆対象商品 青森・ソウル線を片道以上利用する韓国発の青森旅行商品で、青森県内に1泊以上するもの
- ◆支援先 ホドトラベル(株)、(株)ザツアーショップ、(株)ハナツアー、(株)モードツアー、ロッテ観光開発(株)、(株)韓進観光
- ◆期 間 平成27年12月1日(火)～2月28日(日)出発

※旧正月：2月5日（金）、7日（日）出発分を除く。

⑥ 韓国食品展示会出展等事業

韓国との経済交流を促進するため、韓国食品展示会への出展や韓国バイヤーの招聘により、バイヤー及び一般消費者に対して県産品等のPRを行い、県産品等の認知度向上及び販路開拓を図った。

ア フードウィークコリア 2015 出展

- ◆期 間 平成 27 年 11 月 18 日（水）～21 日（土）
- ◆場 所 COEX ワールドトレードセンター（ソウル特別市）
- ◆出展業者 （株）ヤマダイ、（株）中村醸造元、桃川（株）

イ バイヤー招聘

- ◆期 間 平成 28 年 3 月 9 日（水）～11 日（金）
- ◆訪 問 先 （株）木村食品工業、丹代青果（株）、りんごワーク研究所、（株）青研、（株）スターリングフーズ、A-FACTORY

- ◆招 聘 者 ギャラリア百貨店本店名品館代理 チョン・ジンピョ、
ギャラリア百貨店タイムワールド店代理 チョ・ヨンヒョン、
現代グリーンフード加工品購買チーム代理、キム・トンウク、
ヨンイン関税事務所（貿易コンサルタント）
社長 ヨ・チャンウン

ウ ビジネス開拓支援

拡大する日本食市場の新たなビジネスを開拓するため、北東北三県・北海道ソウル事務所により韓国内バイヤー向けの PR とニーズ調査を行い、県内企業の韓国ビジネス開拓の支援を行った。また、外務省主催の風評被害対策海外発信支援事業における韓国内レセプションにおいて県産酒の試飲を実施した。

- ◆期 間 平成 28 年 2 月 19 日（金）
- ◆場 所 日本大使公邸

⑦ 台湾人観光客誘致拡大事業

本県の知名度向上を図るとともに、本県向け旅行商品の造成を促進するため、旅行エージェントへの広告支援などを実施した。

ア インバウンドチャーター便及び定期便を活用した旅行商品造成に対する広告支援金

青森・台湾線のチャーター便等を活用して来青した台湾人観光客による県内宿泊施設の利用促進を目的として、県内宿泊を伴う販売促進に係る経費の一部を助成した。

- ◆支援商品 台湾発青森旅行商品
- ◆支援件数 21 件
- ◆支援先 台湾旅行エージェント 11 社

イ 「JAL×JR」立体観光型旅行商品造成に対する広告支援

台湾発で、青森県・JAL・東日本旅客鉄道（株）及び台湾旅行会社が連携して造成した、飛行機と新幹線を利用した旅行商品を販売実施する台湾旅行エージェントに対して、販売促進に係る広告費用を助成した。

- ◆支援件数 1 件
- ◆支援先 永利旅行社

ウ 台湾旅行エージェントへの広告助成（青函地域商品）

台湾発で日本への定期便を利用した青函地域の移動を行程に含み青森県内に1泊以上宿泊する旅行商品を販売・実施する台湾旅行エージェントが行う販売促進に係る広告費用を助成した。

- ◆支援件数 1 件
- ◆支援先 創造旅行社

エ チャーター便の歓迎及びお見送り対応

台湾発で青森空港又は三沢空港を発着するチャーター便の歓迎及びお見送りを県及び県内観光事業者等と連携行った。

<実施回数>

春チャーター便（4～5月）	9回
秋チャーター便（10～11月）	13回
冬チャーター便（2月）	1回
	計 23回

オ 台湾における青森プロモーション

（ア）台北国際観光博覧会（2015 TTE）

- ◆期 間 平成27年5月22日（金）～23日（土）
- ◆場 所 台北世界貿易ビル一館（台北市）
- ◆参加者 青森県誘客交流課、黄国際交流員、向日遊顧問有限公司
向井代表、青森県観光連盟

（イ）観光セールスプロモーション及び青森県観光商談会

・観光セールスプロモーション

- ◆期 間 平成27年7月21日（火）
- ◆訪問先 雄獅旅行社、喜鴻旅行社、東南旅行社、大興旅行社
- ◆参加者 八甲田ロープウェー、津軽藩ねぷた村、弘南バス、青森ロイヤルホテル、西海観光、青森商工会議所、下北地方県民局、

青森県観光連盟

・観光商談会事業

◆期 間 平成27年7月22日（水）

◆場 所 国賓大飯店（台北市）

（ウ）旅行エージェント等への訪問

◆期 間 平成27年10月2日（金）

◆訪 問 先 エバー航空、中華航空、東南旅行社、創造旅行社、台湾観光協会、日本航空

（エ）各種博覧会等への参加及び商談会の実施

台北国際旅行博への参加及び各種博覧会等でPRグッズの配布などを行ったほか、現地旅行エージェントを対象に旅行商品造成に向けた商談会を行った。

・観光商談会

◆期 間 平成27年11月5日（木）

◆場 所 ウェスティン台北（台北市）

・台北国際旅行博（ITF 2015）

◆期 間 平成27年11月6日（金）～9日（月）

◆場 所 台北世界貿易ビル一館（台北市）

・2015 新・日本旅遊節

◆期 間 平成27年6月18日（木）～21日（日）

◆場 所 花博公園争艶館（台北市）

・漢神百貨店観光ブース出展

◆期 間 平成27年11月13日（金）～15日（日）

◆場 所 漢神アリーナショッピングプラザ催事場（高雄市）

・台湾東北感謝祭

◆期 間 平成27年12月4日（金）～6日（日）

◆場 所 華山1914文化創意産業区園（台北市）

（オ）青森県旅行商品PRグッズ製作・配布

青森県旅行商品PRグッズの製作・配布し、青森県旅行商品のPRを図った。

◆製 作 物 自立式スクリーンバナー、スイングポップ

◆配 布 先 台湾旅行エージェント37社

（カ）台湾スキーFAMの実施

◆期 間 平成28年2月22日（月）～24日（水）

◆場 所 八甲田スキー場、青森スプリング・スキーリゾート

◆参 加 者 高豊滑雪館鄭執行長ほか6名

（キ）青森県旅行商品PR広告掲載事業

青森県への台湾人観光客拡大に向けて、春季チャーター便の利用に係る訴求を図った。

◆掲載媒体 新聞紙「中国時報」

⑧ 「北東北三県・北海道ソウル事務所」運営事業

韓国からの観光客の誘致を推進するため開設した「北東北三県・北海道ソウル事務所」の運営に参画した。

ア 北東北三県・北海道ソウル事務所の概要

- ◆設置場所 大韓民国ソウル特別市中区南大門路 韓進ビル本館7階
- ◆運営主体 北東北三県・北海道ソウル事務所運営協議会
- ◆構 成 員 北海道、青森県、岩手県、秋田県、（一社）北海道貿易物産振興会、（公社）青森県観光連盟、（公財）岩手県観光協会、（一社）秋田県観光連盟

イ 事業内容

（ア）ホームページ活用事業

4道県及びソウル事務所の認知度向上を図るため、事務所ウェブサイト等を通じて随時観光情報を更新するなどし、魅力的な情報発信とアクセス件数の拡大に努めた。

（イ）旅行商品提案モニター招聘事業

パワーブロガーを招聘してのファムツアーを実施し、人気ブログによる情報発信を行った。

- ◆期 間 平成27年8月5日（水）～7日（金）
- ◆場 所 アスパム、青森ねぶた祭り、奥入瀬溪流、田んぼアート、立佞武多 他
- ◆参 加 者 韓国パワーブロガー2名

（ウ）韓国・旅行エージェント招請事業（VJ事業）

旅行者に占めるウエイトが年々高まっているFITをターゲットとした誘客の拡大、レンタカーを利用した新たな商品造成を図るため、韓国旅行エージェントを招聘してのファムツアーを実施した。

- ◆期 間 平成27年10月27日（火）～28日（水）
- ◆場 所 奥入瀬溪流、中野もみじ山、黒石観光りんご園、ロマントピア、嶽温泉他
- ◆参 加 者 韓国旅行エージェント4社

（エ）北東北三県・北海道韓国旅行エージェント商談会の開催

北東北三県・北海道の観光事業者と韓国の旅行エージェント等による旅行商品造成に係る商談会及び日本側参加者向けの韓国旅行市場セミナーを開催した。

- ◆期 間 平成 27 年 10 月 6 日（火）
- ◆場 所 ザ・プラザ グランドボールルーム（ソウル特別市）
- ◆参 加 者 日本側 4 道県計 56 名（青森県関係 4 団体 8 名）韓
国側 旅行会社 64 名・ランド会社 54 名、
メディア 3 名、キャリア等 16 名

（オ）商談会

・ソウル会場

- ◆期 間 平成 27 年 6 月 10 日（水）
- ◆場 所 プレジデントホテル
- ◆主 催 観光庁、日本政府観光局

・釜山会場

- ◆期 間 平成 27 年 9 月 10 日（木）
- ◆場 所 ロッテホテル
- ◆主 催 観光庁、日本政府観光局

（カ）イベント出展

・大邱、慶北国際観光博覧会

- ◆期 間 平成 27 年 4 月 23 日（木）～26 日（日）
- ◆場 所 HICO（慶州市）

・ハナツアー旅行博覧会

- ◆期 間 平成 27 年 6 月 5 日（金）～7 日（日）
- ◆場 所 KINTEX（高陽市）

・韓国国際観光展（KOTFA）

- ◆期 間 平成 27 年 6 月 11 日（木）～14 日（日）
- ◆場 所 COEX（ソウル特別市）

・日韓国交正常化 50 周年祝賀行事における自治体 PR イベント

- ◆期 間 平成 27 年 6 月 22 日（月）
- ◆場 所 ウェスティン朝鮮ホテル（ソウル特別市）

・釜山国際観光博（BITF2014）

- ◆期 間 平成 27 年 9 月 11 日（金）～14 日（月）
- ◆場 所 BEXCO（釜山市）

・モードツアー国際旅行博覧会

- ◆期 間 平成 27 年 10 月 29 日（木）～11 月 1 日（日）
- ◆場 所 SETEC（ソウル特別市）

（キ）ファムツアー実施事業

韓国からの観光客の誘致拡大を図るため、韓国からの各団体招聘事業を実施した。

・ 韓国大学教授ファムツアー

◆期 間 平成 27 年 6 月 26 日(金)～28 日(日)

◆視 察 先 立佞武多の館、斜陽館、奥入瀬溪流、十和田現代美術館、八戸酒造 他

◆招 聘 者 韓国大学教授 11 名、ソウル事務所 1 名

・ 青森 MICE ファムツアー

◆期 間 平成 27 年 6 月 28 日(日)～7 月 1 日(水)

◆視 察 先 津軽藩ねぷた村、弘前城、藤田記念庭園、弘前市りんご公園、アップルランド、白神山地、田んぼアート、奥入瀬溪流、八戸酒造、新井田丸屋形船、種差海岸、みちのく国際カントリー倶楽部 他

◆招 聘 者 MICE 関係者 7 名、JNTO ソウル 1 名、ソウル事務所 1 名

(5) 観光キャンペーン推進事業

東日本旅客鉄道(株)や(公社)日本観光振興協会、青森県等とタイアップし、首都圏等における各種観光イベントや観光物産展等に参画するとともに、青森県・函館デスティネーションキャンペーンの取り組みと連動し、キャッチフレーズ「ひと旅 ふた旅、めぐる旅。青森・函館」とマスコットキャラクターの「いくべえ」を活用しながら観光PR等を実施した。

また、観光ガイドブック等の作成や首都圏等でのイベント等を通じて、本県の観光資源の魅力を全国にPRし、本県への一層の誘客促進を図った。

① 宣伝広報事業

ア あおもり紀行キャンペーンスタッフの任命

県内外の各種観光キャンペーンイベント等において本県観光のPRを行う「あおもり紀行キャンペーンスタッフ」を任命した。

◆人 数 5 名

◆任 期 平成 27 年 4 月 1 日(水)～平成 28 年 3 月 31 日(木)

イ 観光ガイドブック等の作成

あおもり紀行ガイドブックの作成

自然や食、温泉、祭りを主要テーマに、ホットな話題やイベント、観

光施設等の情報を掲載した本県の旅の総合案内として「あおもり紀行イベントガイドブック」を作成した。

- ◆部 数 夏・秋号 15 万部
冬・春号 15 万部
- ◆時 期 夏・秋号 平成 27 年 5 月
冬・春号 平成 27 年 10 月

ウ リゾート列車の運行にかかる協議会への参画

JR五能線で運行されている「リゾートしらかみ」及び津軽線・大湊線等で運行されている「リゾートあすなろ」の各協議会に参画し、沿線市町村の観光情報を掲載したパンフレットの作成や各種イベント等に参加した。

エ 広告宣伝の展開等

各種新聞・雑誌等において本県の観光資源の魅力を紹介する広告宣伝を展開するとともに、マスコミ等の県内取材に対し積極的に協力した。

オ 観光イベント等への参画

東日本旅客鉄道（株）や（公社）日本観光振興協会、青森県等とタイアップして、首都圏等で観光イベントを積極的に展開した。

（ア）「2015 夏の旅」観光展

- ◆時 期 平成 27 年 6 月 26 日（金）～27 日（土）
- ◆場 所 JP タワー「KITTE イベントスペース」（東京都）
- ◆主 催 （公社）日本観光振興協会関東支部

（イ）ハイウェイフェスタとうほく

- ◆時 期 平成 27 年 9 月 18 日（金）～20 日（日）
- ◆場 所 勾当台公園（仙台市）
- ◆主 催 東日本高速道路（株）東北支社

（ウ）東北復興大祭典なかの（青森人の祭典）

- ◆時 期 平成 27 年 10 月 24 日（土）～25 日（日）
- ◆場 所 中野サンプラザ広場外（東京都）
- ◆主 催 東京青森県人会

（エ）「2015 冬の旅」観光展

- ◆時 期 平成 27 年 11 月 28 日（土）～29 日（日）
- ◆場 所 JR大宮駅西口イベントスペース（さいたま市）

◆主 催 (公社)日本観光振興協会関東支部

(オ) ふるさと祭り東京 2016

◆時 期 平成 28 年 1 月 8 日 (金) ~ 17 日 (日)

◆場 所 東京ドーム (東京都文京区)

◆主 催 ふるさと祭り東京実行委員会

(カ) その他

県内外で開催される各種観光イベント、観光物産展等に積極的に参画し、観光コーナーの設置、あおもり紀行キャンペーンスタッフによる観光PR等を行った。

② 誘客対策事業

ア 旅行商品造成対策

滞在型・周遊型旅行商品の造成を一層促進するため、市町村や関係機関と連携を図り、旅行エージェント等に対し本県の新しい観光素材や観光スポット、自然、食、温泉等の魅力を積極的に情報提供し、旅行商品の造成を強力に促進した。

◆時 期 平成 27 年 10 月、平成 28 年 2 月

◆訪 問 先 首都圏、名古屋市、大阪市、福岡市

◆内 容 旅行エージェントへの集中訪問による商品造成の促進

イ 航空路線活用対策

県内空港発着の航空路線が広がる中で、航空会社への情報提供や連携した取組により、旅行商品の造成や航空便を利用した誘客を促進した。

また、青森空港振興会議や航空会社等と連携を図りながら、九州・沖縄地方等からチャーター便を利用して来県する観光客に対して歓迎イベント等を実施した。

③ 青森県・函館誘客促進プロモーション事業

北海道新幹線の開業効果を最大限に獲得するため、東日本旅客鉄道(株)の「重点販売地域指定」等と連携したキャンペーンに参画し、本県への誘客促進を図った。

ア 観光PRキャンペーンイベントへの参加

重点販売地域指定期間に向けて積極的に本県観光資源を紹介し、誘客促進を図るために行うキャンペーンイベントに参画した。

◆時 期 平成 28 年 1 月~2 月

◆場 所 JR大宮駅・仙台駅・札幌駅

イ あおもり紀行ガイドブックの作成（県委託事業）

重点販売地域指定期間に造成される本県向け旅行商品パンフレットを補完するためのガイドブックを作成・増刷した。

◆部 数 35 万部

◆時 期 平成 27 年 5 月

ウ JR主要駅内観光物産フェアでの観光PRへの参画

東日本旅客鉄道（株）が重点販売地域指定期間に向けて実施する「産直市」に参画し、本県観光資源を積極的にPRし誘客促進を図った。

◆時 期 平成 27 年 5 月 22 日（金）～24 日（日）

◆場 所 JR上野駅

エ 観光コンテンツ等の首都圏における強力な情報発信（県委託事業）

本県の魅力あふれる観光コンテンツを首都圏の富裕層の多いエリア等をターゲットとしたタブロイド紙に情報を掲載してPRするとともに、地元新聞を活用し、本県の新たな魅力の認識とホスピタリティ意識の高揚を図った。

◆時 期 平成 27 年 7 月～8 月

◆配 布 先 首都圏（東京・神奈川中心）、県内

◆部 数 県外 約 40 万部、県内 約 25 万部

オ 旅行エージェント販売店舗等におけるキャラバン等の実施
（県委託事業）

旅行エージェントが造成した旅行商品の販売促進と更なる商品造成を働きかけるため、旅行エージェントの販売店舗等におけるキャラバンを実施したほか、観光PRや旅行エージェント等に配布するためのポスター等を作成するとともに、本県の観光マスコットキャラクターである「いくべえ」によるプロモーションを展開し、本県への誘客促進を図った。

（ア）販売店舗等キャラバンの実施

◆時 期 平成 27 年 7 月～平成 28 年 2 月

◆場 所 首都圏・東北JR主要駅・旅行会社店舗等 33 箇所

（イ）「いくべえ」によるプロモーション活動

◆期 間 平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

◆人 員 2 名

カ 北海道新幹線奥津軽いまべつ駅開業前プロモーション（県委託事業）
北海道新幹線開業後、本県の主要マーケットとなる首都圏において、開業前のタイミングでイベントを展開し、本県の認知度向上及び誘客促進を図った。

（ア）首都圏における観光PRイベント（銀座立佞武多）

- ◆期 間 平成 28 年 3 月 18 日（金）～21 日（月）
- ◆場 所 銀座ソニービル展示スペース
- ◆名 称 The Amazing Peninsula TSUGARU いざ、感動の半島へ。
- ◆内 容 ソニービルにおける立佞武多展示

五カ国語観光パンフレットの製作・配布 等

（イ）首都圏における観光PRイベント（ツーリズムEXPOジャパン）

- ◆時 期 平成 27 年 9 月 25 日（金）～27 日（日）
- ◆場 所 東京ビッグサイト（東京都江東区）

④ デスティネーションキャンペーン推進事業

平成 28 年 7 月から 9 月に実施する青森県・函館デスティネーションキャンペーン（以下、「青森県・函館DC」という。）に向けた旅行商品の造成や送客、観光情報の発信などを要請するため、7 月に全国から旅行エージェントやマスコミ関係者、JR 関係者等を招き、全国宣伝販売促進会議を開催した。

また、キャンペーン本番に向けて、自治体、観光関係団体、観光事業者が一丸となり、観光資源の掘り起こしや磨き上げの取り組みを加速したほか、各種宣伝・広報、誘客対策、観光客受入体制整備を積極的に進め、全国からの集中的な誘客や地域経済の活性化を図った。

ア 全国宣伝販売促進会議

（ア）全国宣伝販売促進会議の開催

青森県・函館DC本番である平成 28 年 7 月から 9 月に、青森県・北海道道南地域への誘客を図るための旅行商品造成や、観光情報の発信を促すため、1 年前となる平成 27 年 7 月に全国から旅行エージェントやマスコミ関係者、JR 関係者等を招き、大規模なプレゼンテーションを行う全国宣伝販売促進会議を開催した。

⑦ 全体会議等

- ◆時 期 平成 27 年 7 月 15 日（水）
- ◆場 所 ホテル青森
- ◆内 容 ・ 観光PRコーナー
・ 体験コーナー
・ 観光商談会

・全体会議（観光プレゼンテーション、宣伝計画説明など）

・歓迎レセプション

④エクスカーション（現地視察）

◆時 期 平成 27 年 7 月 16 日（木）～17 日（金）

◆コ ー ス 青森県内及び北海道道南地域 9 コース

（イ）海外旅行エージェント招聘

東日本旅客鉄道（株）と連携し、海外旅行エージェントを招聘し、全国宣伝販売促進会議への参加と県内各地の視察を行った。

◆参加旅行エージェント数 台湾 7 社、香港 6 社、中国 2 社

（ウ）全国宣伝販売促進会議用「キャンペーンガイドブック」の作成

青森県・函館 D C 本番に向けた旅行商品の造成促進を図るため、各地域の代表的な観光資源や D C 期間中における主な取り組み、食、温泉などを掲載したキャンペーンガイドブックを作成した。

◆規 格 A 4 判 4 C 68 ページ

◆部 数 1,500 部

（エ）「イベント・観光素材等提案集」の作成

青森県・函館 D C 本番に向けた青森県及び北海道道南地域への旅行商品の造成促進を図るため、各地域の観光資源や D C 期間中における取り組み、イベント情報等の情報を掲載した「イベント・観光素材等提案集」を作成した。

◆規 格 A 4 判 1 C

◆部 数 1,200 部

イ 宣伝・広報事業

（ア）専用ウェブサイトの作成・運用

青森県・函館 D C の概要や各地の取組状況、観光情報、イベント情報等を全国に向けて情報発信するとともに、関係住民への周知と D C への参加意識の高揚を図るため、専用ウェブサイトを作成し、運用した。

（イ）P R 用ポスター作成

青森県・函館 D C の P R を図るため、ポスターを作成し、全国の J R 主要駅に掲出した。

◆枚 数 B 1 判 2,000 枚

◆掲出時期 平成 27 年 7 月～9 月

(ウ) 新聞・雑誌等広告

青森県・函館ＤＣの告知やＤＣに向けた取組等を紹介するため、旅行関連の新聞や雑誌等に特集記事を掲載した。

◆掲出雑誌 トランヴェール、大人の休日倶楽部

◆時 期 平成 27 年 6 月

(エ) 「いくべえ」着ぐるみの制作

青森県・函館ＤＣマスコットキャラクター「いくべえ」の着ぐるみを制作し、全国宣伝販売促進会議をはじめ、各種キャンペーンイベント等でＰＲに活用した。

ウ 誘客対策事業

(ア) 観光キャラバンの実施

青森県・函館ＤＣへの誘客促進を図るため、観光関係団体や観光事業者等と連携して、観光キャラバンを実施した。

◆時 期 平成 27 年 5 月～6 月

◆派 遣 先 首都圏ＪＲ主要駅・札幌駅

(イ) 観光キャンペーンイベントの開催

青森県・函館ＤＣや北海道新幹線開業の告知を図るとともに、観光資源のＰＲを行い、東北圏及び首都圏からの誘客促進を図るため、ＪＲ仙台駅及びＪＲ大宮駅において観光キャンペーンイベントを開催した。

⑦観光ＰＲキャンペーン in 大宮

◆時 期 平成 27 年 7 月 10 日（金）～16 日（木）

◆場 所 ＪＲ大宮駅 西口改札外イベントスペース

◆内 容 観光コーナー・イベントステージにおける各種ＰＲ

⑧観光ＰＲキャンペーン in 仙台

◆時 期 平成 27 年 10 月 29 日（木）～ 11 月 4 日（水）

◆場 所 ＪＲ仙台駅 2 階コンコース内イベントスペース

◆内 容 観光コーナー・イベントステージにおける各種ＰＲ

エ その他

(ア) 青森県・函館ＤＣ協賛事業

全国宣伝販売促進会議など、本県並びに北海道道南地域の観光・文化の魅力の積極的な情報発信、国内外からの観光客の誘致促進等に要する経費にあてるための協賛金を募った。

◆募集期間 平成 27 年 6 月 8 日（月）から 9 月 30 日（水）まで

◆協賛金額 1,680 千円

(イ) 啓発用宣伝物の作成

青森県・函館ＤＣに向けた地域住民や観光施設・交通機関の従業員などのおもてなし意識の向上及びＤＣ推進委員会構成員相互の一体感を醸成するため、各種啓発用宣伝物を作成した。

◆啓発用宣伝物 ピンバッジ、フラッグ、のぼり、缶バッジ等

(６) 受入体制整備事業

① 観光案内所運営事業

青森県東京観光案内所を運営し、本県観光情報の発信や問合せへの対応を行うとともに、県内観光案内所の連携による観光情報の提供及び観光案内体制の充実強化を図った。

ア 青森県東京観光案内所の運営（県委託事業）

◆所在地 東京都千代田区富士見 2-3-11 青森県会館 1 階

イ 青森県内観光案内所連絡会議の開催

県内の各観光案内所（40 か所）の円滑な業務運営と広域観光案内に対応するため、連絡会議を開催した。

◆期 日 平成 27 年 6 月 3 日（水）

◆場 所 青森県観光物産館

② 「もてなしの心」運動推進事業

北海道新幹線奥津軽いまべつ駅開業及び青森県・函館ＤＣの実施を見据え、本県を訪れた観光客を温かくもてなすため、県民及び観光事業者に対して「もてなしの心」の気運醸成を行い、受入体制の整備を図った。

ア クリーン大作戦の実施

本県を訪れる多くの観光客を温かくもてなす県民運動の一環として、美しい自然環境を大切にし、後世に残していく意識を醸成するため、小さな親切運動青森県本部とともに「春のクリーン大作戦」を実施した。

◆期 日 平成 27 年 4 月 18 日（土）

◆場 所 県内各地

◆参加人員 約 10 万人

イ 観光ボランティアガイド県大会の開催事業（県補助事業）

観光ボランティアガイド県大会を開催し、先進事例の研修や活動事例発表などを通じ、ガイド団体相互の情報交流、ガイドのスキルアップを図った。

◆期 日 平成 27 年 9 月 5 日（土）

◆場 所 八戸市シーガルビューホテル

◆内 容 八戸市内視察研修、協議会加盟団体活動発表など

ウ ホスピタリティ普及事業（県補助事業）

観光客を温かくもてなすための気運醸成を図るため、観光事業者を対象に講習会の開催等を行った。

◆期 日 平成 28 年 2 月 10 日（水）

◆場 所 A-FACTORY

◆受講人数 25 名

③ 観光マインドアップ推進事業（県委託事業）

北海道新幹線開業に向けて、県内各地で開催されるイベント等に「いくべえ」を中心とするPRキャラバン隊を派遣し、全県的な観光客を受け入れる気運の醸成とおもてなしの向上を図った。

ア 県内キャラバン

◆期 日 平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

◆場 所 県内観光施設、幼稚園、県内観光イベント 等

◆内 容 おもてなし缶バッジなどの配布 等

◆実施回数 33 回

イ 北海道新幹線奥津軽いまべつ駅開業周知フラッグの掲出

◆期 日 平成 28 年 2 月 10 日（水）～3 月 28 日（月）

◆場 所 県内の主要商店街

（7）その他観光振興事業

① 観光リーダー実践研修事業

地域の魅力を活かしたコンテンツづくりやおもてなしの取組みなど、本県の観光振興の中核となる地域の人材の育成と活用を図るための研修事業を実施した。

《第 1 回》

◆期 日 平成 27 年 10 月 26 日（月）

◆場 所 青森県観光物産館

◆講 師 読売広告社 次世代モノづくり研究所長 田中 操氏

◆テ ー マ 「観光コンテンツの開発と磨き方～地域資源の魅力的PRとブランディング」

◆参 加 者 県内市町村、観光関係団体、観光事業者等 33 名

《第 2 回》

◆期 日 平成 28 年 2 月 26 日（金）

◆場 所 青森県観光物産館

◆講 師 特定非営利法人 ACTY 理事長、AC プロモート代表 町田直子 氏

- ◆テ　マ　「地域の魅力を活かした旅行商品の造成について」
◆参　加　者　県内市町村、観光関係団体、観光事業者等 43 名
《第 3 回》
◆期　　日　平成 28 年 3 月 17 日（木）
◆場　　所　青森県観光物産館
◆講　　師　津軽地吹雪会　代表　角田　周　氏
◆テ　　マ　「広域連携とその構築について」
◆参　加　者　県内市町村、観光関係団体、観光事業者等 30 名

② 観光功労者表彰

観光思想の普及による観光振興に向けた意識の高揚や受入体制の整備を図るため、本県の観光振興に顕著な功績が認められる者を表彰した。

【個人】

- ・下道元治郎（おいらせ町観光協会顧問）
- ・新田純治（七戸町文化ガイドの会会長）
- ・伊藤良二（元つがる市観光協会会長）
- ・中村秀行（一般社団法人十和田湖国立公園協会理事長）

③ 観光振興事業（県補助事業）

（公社）日本観光振興協会が全国的または重点的に実施する全国広域観光振興事業に対し拠出した。

④ 広域観光振興事業

ア 北東北三県観光立県推進協議会の事業への参画

北東北三県観光立県推進協議会に参加し、北東北広域による国内観光の推進を図るとともに、外国人観光客の受入体制の整備、誘客促進及びPRに努めた。

イ 東北観光推進機構の事業への参画

東北観光推進機構に参加し、広域観光の推進を図った。

ウ イルミネーション及びライトアップ機材の貸出し

県内市町村等にイルミネーション及びライトアップ機材の貸し出しを行い滞在型観光及び冬季観光の振興を図り誘客を促進した。

⑤ 滞在時間延長プログラム推進事業

（むつ小川原地域・産業振興プロジェクト支援事業）

観光客の滞在時間延長による経済効果の獲得を図るため、体験メニューの充実化・気運醸成と県内宿泊施設利用を促進するための環境整備を図った。

ア 体験メニューの充実化・気運醸成

滞在時間延長の促進に寄与する「まちあるき」等企画の気運醸成を図るため県内のテレビにおいて 30 分番組を制作・放映するとともに、メニューの充実化を促進した。

イ 県内宿泊施設利用促進のための環境整備

県内宿泊施設の利用促進が図られるよう、専用サイトを立ち上げ円滑な宿泊情報の提供を行った。

2 青森県観光物産館管理運営事業

観光・物産の情報発信拠点である青森県観光物産館アスパムの機能強化と魅力向上を図り、展望台・パノラマ映画などの各種展示コーナー、地場セレクトなどの物産販売店、会議室等の管理・運営、市町村と連携したイベント等の開催を通じ、本県の観光、物産、郷土芸能及び産業などを総合的に紹介・宣伝した。

(1) 観光資源紹介事業

青森市内唯一の展望施設である地上 51 メートルの展望台、360 度の全周映像で県内 40 市町村の四季の自然や祭り、郷土芸能等の観光資源を紹介するパノラマ映画をはじめ各種展示コーナーの管理・運営等を行った。

また、主催イベントの充実を図るとともに、県や市町村、関係団体等と連携し、地域の振興を図った。

パノラマ映画については、耐用年数を経過したフィルムの焼き増し・更新を行った。

(2) 貸会議室事業

館内の会議室を、本県の観光、物産、郷土芸能及び産業などの振興や地域おこし事業の活動の場、若年者の雇用促進のための職業相談や各種セミナー、教育旅行で来館する学校や教育旅行団体の体験学習の会場として貸出しし、本県観光及び産業の振興に寄与した。

(3) 青森県地場セレクト運営事業

県内地場産品の掘り起こしを進め、こだわりやストーリー性のある地場産品を紹介・販売する「青森県地場セレクト」の運営を行い、店舗での消費者の反応や改良点などを生産者にフィードバックし、商品改良・販路拡大に活用し、地域や産業の振興を図った。

(4) テナント事業

青森県の主要な産業の一つであるエネルギー施策PRの展示・体験施設と雇用促進関連事業であるハローワーク関連施設やジョブカフェ等を入居させ、その活動及びサービスの場を提供することにより、本県の産業の振興を図った。

(5) PRホール運営事業

アスパム1・2階において、市町村の観光、物産、郷土芸能、民芸品を紹介・宣伝した。(公財)市町村振興協会の助成を受け、市町村ホールの管理運営を行った。また、本県を代表する郷土芸能である津軽三味線の無料演奏会や県立郷土館等との連携展を開催した。

〔収益事業〕

1 イベントスペース・貸会議室事業

アスパム館内のイベントスペース及び会議室(11室)を各種会議や催事会場として貸出した。

2 テナント事業

青森県産にこだわった特色ある土産品店(5店舗)と飲食店(3店舗)をテナントとして入居させ、青森県の物産と食の魅力を提供した。

3 青森県観光物産館駐車場管理等運営事業

青森県観光物産館アスパム来館者等の利便性向上を図るため、一般及びバス駐車場を管理・運営した。